



設問①

うり坊 こつこつ地道に努力しながら目標達成のために忍耐強く突き進むところ。

設問②

コロナの影響で孤独感や不安を抱えている人が増えている事をニュースで知り、何か力になれることはないかと思っ

たのがきっかけ。私自身、誰にも悩みを打ち明けられず辛かった時に話を聴いてもらい楽になった経験から、誰かの心にそっと寄り添える活動がやりたいと思った。

傾聴を通して自分の生き方を学べる講座だった。テキストを読み進めていくというよりも一人一人感想を発表する場が多かったので、『私は今何を感じてい

るのか？という考えを持つているのか？』という事を常に模索し、自分自身と向き合う講座になった。今まで以上に生きやすくなれると思えた。

設問③

傾聴を通して自分の生き方を学べる講座だった。テキストを読み進めていくというよりも一人一人感想を発表する場が多かったので、『私は今何を感じてい

設問④

お互いがお互いを尊重し合っている人達の集まりという印象。心のソーシャルディスタンスが保たれていて、とても気持ちのいい雰囲気がある。



設問①

ねずみ 千支がねずみで毎日よく働いていた母。母ほど働き者ではないけれど母に似てきたなど。

設問②

自分の子どもから、私に話してもじつくり聞いてもらえないと不

満を言われていたのが主な理由です。特に長女からアドバイスはほらないからよく話を聞いてと注文を付けられることがありました。

設問③

入門講座は目からうろこの毎日でした。聴くことは自分自身の人間性が問われることだと思いました。

受け手講座は、聴き方を学ぶ厳しい講座でした。両講座で学んだこ

とは、自分に正直になるということと自分も悩んでいる同じ人間同士として掛け手の話を聴くということでした。

設問④

皆さん、とても勉強熱心で一人一人が自分を持っていて生き生きとしています。話しやすい雰囲気です。



設問①

ネコ 岩合光昭さんの「世界ネコ歩き」が好きです。ネコみたいに野性的で自立しててしなやかでありたいなと思つてい

設問②

ます。あくまで理想です。「でも、やっぱり人がいないところでは生きていけないんですね。」と岩合さんは言つて、

そうだよね...と。

設問③

「傾聴」を実践を通して身につけたいなと思つたのと自分をもっと知りた

動しました。皆さん親切で最初から居心地がいいです。前からいる人も新人も平等で、自分のやりたいことを自発的にやっているので他ではあまり見られないかも。

設問④

入門講座ではメンバーの人達が自分の体験をもとに講師をされていてすごいと思えました。そんなことができるんだって。受け手養成講座は渡邊先生の講義が素晴らしかった。毎回、深い内容が分かりやすく説明されて感

を受け手を実際にすると難しいなあと感じることが多いけど、少しずつうまく聴けるようになっていけば良いんだと思える雰囲気があります。



設問①

猫 飼猫を見ながら自由にありのまま自分らしく生きていくところや、居心地の良い居場所を見つけ距離感もとって生きていくその姿に憧れる・そんな風でありたいと願

設問②

いながら「猫」。

悩みを抱えている人に寄り添えたらとの思いと、自分自身を知って自分らしく生きられるようになりたいとの思いから。

設問③

傾聴の学びから講座が進んでいく中で、自分を深くみつめていることに気が付き、自分らしく生きるには？どう生きたいのか？自分の気持ちを分かっているのか？自己肯定感はあるのか？と深まる思い

を抱えてしまった。そんな中、「今日の私はこんなところ」の言葉を頂き、心が楽になったことを思い出す。もう少し「楽」を与えてあげたい気持ちで、今も学び継続中。

設問④

ぬくもりという言葉の通り温かいものを感じ、受け入れてもらっていることを感じる。